

## 長谷川議員 要望項目一覧

### 平成25年度9月補正分

要望項目	左 に対する 対応方針等
<p>1 鳥取看護大学の実現に見通しをもった支援を 学校法人藤田学院が平成27年4月の開設に向けて準備を進めている鳥取看護大学の設置経費に対し、中部の市町と協力して県も十分な財政支援を行うこと。また、看護職員修学資金等貸付制度の予算の確保など、学生の経済的負担に配慮した取組を検討していただくこと。</p>	<p>鳥取看護大学構想を含めた新たな看護師養成所の設置の動きに対し、県は「看護師養成の抜本的拡充に向けての検討会」を平成24年11月に設置し、これまで5回の検討を重ねてきた。 県としては、県内の医療が看護師不足という課題を抱える中、地元と学校法人で実現可能な構想を構築されるのであれば、検討会での意見等も参考にさせていただき、支援について地元市町と検討したい。 また、看護職員修学資金等貸付金については、新たな養成施設が設置された場合の学生の進学動向等を勘案し、適正な予算規模について検討していきたい。</p>
<p>2 香港チャーター便のさらなる発展を 今回、24往復で実現した香港からのチャーター便は、搭乗率8割を超え、大きな成果をもたらした。訪日旅行の体験が多い観光客も、鳥取県に対して新鮮な印象を持たれたようだ。また、香港からの観光客はフルーツを嗜好され、メロン、梨などが検疫不要で持ち帰れることが魅力で、売上増につながったとのことである。 ついては、冬の鳥取も訪れていただくよう、雪とカニを楽しむことのできる時期のチャーター便の実現に努めていただくこと。</p>	<p>鳥取県初の香港連続インバウンドチャーターについては、搭乗率も80%を超えるなど非常に好調で多くの香港観光客に水木しげるロードなど鳥取県内観光施設のほかにも、ふれあい村アスパルにおいて鳥取県内の農産物を購入いただくなどショッピングも満喫いただいた。 このように香港のお客様は食へのこだわりも強く、美食家が多いため、鳥取県の冬の味覚も香港で受け入れられる可能性が非常に高い。 今後、鳥取県の食を始めとする地域資源と観光を連動させた情報発信を行い、知名度向上を図るとともに、継続的なチャーター便運航や他空港利用の商品造成に向け、EGLツアーを始めとする香港の旅行社等への働きかけを引き続き実施していく。 【9月補正】 世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客誘致推進事業） 18,600千円</p>
<p>3 ミドル・シニア仕事ぶらざの継続・充実を 県が平成23年度から3年間の委託事業として運営をされているミドル・シニア仕事プラザについて、委託期間が今年度末で終了する。県内3地区で、おおむね40歳以上の求職、再就職を希望する県民にとって、非常に有効で実績をあげている。 ついては、県内の必要性に対応できるよう、新年度も引き続き予算措置を含め事業を継続・充実していただくこと。</p>	<p>ミドル・シニア仕事ぶらざ（県内3箇所設置）については、就職が困難とされる中高年者（おおむね40歳以上の者）の就業支援業務を3カ年間（平成23年4月～平成26年3月）、民間職業紹介事業者へ委託実施しているところである。 本県においては、平成23年度以降の相次ぐ県内大手製造業の事業再編等による厳しい雇用環境にありながら、平成25年度7月末現在の就職者数は、設置前の約1.5倍の実績を出していることから、来年度以降も継続・充実していく方向で検討している。</p>